

小規模多機能型居宅介護
ライフサポートハウス エールニ之宮
サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 3 月 19 日 (19 : 00~21 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 一之瀬・小山内・関澤・高野・遠藤・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	5	3		9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	5	2		9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	7	1		9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	5	2		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
初期支援について、サービス開始前には管理者や、計画作成担当者をご本人とご家族に思いや心配事等の聞き取りを行い、ミーティングでの情報共有を行う事ができている。ご利用者がサービス利用に慣れていない時期は席や、他のご利用者との間に職員が入り会話のきっかけ作りを行い、良い関係性が築けるような配慮ができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
支援開始前でのご本人やご家族の聞き取りについて、管理者や計画作成担当者が行う事がほとんどで、現場職員の関わりが少ない。サービス開始時にある程度の情報共有はできているが、全ての情報が全職員に伝わっていない事があり、得に非常勤職員までの情報共有ができていない時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ご本人やご家族に接点を持ち、関係性が築けるよう担当者会議に現場の職員も同席ができるようにする。アセスメント用紙に情報を、より詳しく記載し、非常勤職員を含め全職員が情報をしっかりと把握できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 3 月 19 日 (19 : 00～21 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 一之瀬・小山内・関澤・高野・遠藤・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		6	3		9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	3		9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5	4		9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		2	6	1	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

計画作成担当者が作成したケアプランを基に日々の介助を行う事ができている。その他ケアプランに記載のない、ご利用者からのすぐの実現できる「～したい」という希望がある際は都度対応できている。大きな希望や目標については、職員間で話し合い、実現に向けての努力ができている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

日々、ご本人からの希望や目標の聞き取りをしようとする努力がまだ足りていない状況があり、支援している事とご本人がしたい事が噛み合わない事がある。大きな希望や目標について、職員間での話し合いはしているものの、ミーティングの時間や回数が少なく具体的な援助方法等まで決まらない事がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

職員個々がご利用者からの希望や訴えをしっかりと聞こうという姿勢をとり、出てきた内容を計画作成担当者と協力しケアプランに反映させていく。ケアの内容について変更等の意見がある場合、都度ミーティングの時間を作り、具体的な援助方法まで決め対応する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 3 月 19 日 (19:00~21:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 一之瀬・小山内・関澤・高野・遠藤・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2	6	1	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		9			9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	3	5		9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	7			9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		8	1		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
全員一律の介護ではなくご本人の希望や体調に合わせた、食事、入浴、排泄の援助を行う事ができている。日々のかかわりの中で体調や気持ちの変化が見られる際、その様子を都度、記録に残し職員間での共有ができています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日常生活の支援において、ご本人の「今までの暮らし」が重要な事が理解できていない職員もおり、これまでの暮らしの営みの継続になっていなかった。職員の能力に差があり、残存機能を生かした介護ができておらず自立支援ができていないとは言い切れない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
生活歴や今現在の生活の様子までしっかりと記入し、職員に共有することで、これまでの暮らしの継続に繋げる。職員の能力の差については、自立支援等の研修を行い、スキルアップを図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 3 月 19 日 (19 : 00～21 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 一之瀬・小山内・関澤・高野・遠藤・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		4	5		9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		3	5	1	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3	5	1	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	7	1	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事業所が直接接していない時間については、送迎時にご家族に様子を聞いている。ご家族、ご本人に聞き取りを行いながら、通い慣れた美容室や病院等に継続し通えるように支援できている。必要な方には、民生委員の協力を得て、見守り等の支援ができている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
独居のご利用者については事業所が直接接していない時間の過ごし方を把握できていない所もある。ご本人と地域との関係性について全ては把握できていない。施設周辺の民生委員等の繋がりはあるが、他の地域の民生委員等の繋がりが薄く、不十分な所がある。地域の資源についての知識に職員個々でバラつきがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
ご家族やご本人に地域との関係性を詳しく聞き取りを行い、施設でどのような支援方法があるか再度確認や変更を行う。地域の資源について情報を収集し職員へ共有、理解を深めると共にご利用者の暮らしに必要な場合は協力をお願いします。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 3 月 19 日 (19 : 00 ~ 21 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 一之瀬・小山内・関澤・高野・遠藤・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		3	4	2	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	3	3		9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	5	2		9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	4	2		9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
施設のある二之宮区のお祭り等の行事に参加できている。ご本人、ご家族のニーズに合わせたケアやサービスの提供が行えており、急な利用変更、追加にも対応できている。ご本人に変化が見られる際、記録に残し職員で共有行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源の知識が薄いため、自施設だけで支えようとしている所がある。ご本人よりご家族のニーズが優先されてしまっている事がある。ご本人の変化について、悪い変化ばかりを捉えてしまいがちで、良い変化に着目できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
地域資源の把握と活用を行う。施設周辺の行事だけではなく、ご利用者の自宅周辺の行事に参加できるように努めていく。ご家族のニーズが優先され過ぎないように、ご本人のニーズもしっかりと聞き取りを行い、支援方法を決めていく。ご本人の変化については、良い変化、悪い変化、両方記録に残し共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 3 月 19 日 (19:00~21:00)

6. 連携・協働

メンバー 一之瀬・小山内・関澤・高野・遠藤・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		2	2	5	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1	2	6	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	2	2	3	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		3	2	4	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
定期的に運営推進会議を開催し、区長、民生員、行政との連携が図れている。その他のサービスについては担当者会議にて連携が図れている。施設周辺の農家の方から収穫時期には、おいしい果物を届けて頂いたり、秋祭りの時にも参加して頂いている。敬老会の時は、地域の保育園児の慰問があり、交流が図れている。職員が地域消防団に参加している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
管理者、計画作成担当者が運営推進会議や担当者会議に出席する事が多く、現場職員の参加ができていない。施設側からの発信が少なく、施設で行う大きな行事の時のみ地域住民の来所があり、その他の時に来所して頂ける機会がほとんどない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
各会議には、管理者や計画作成担当者だけでなく現場職員も参加できるようにする。施設が行う大きな行事以外に、地域の方が気軽に来所していただけるようなイベントを考え発信し、施設に来て頂く努力をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 3 月 19 日 (19 : 00～21 : 00)

7. 運営

メンバー 一之瀬・小山内・関澤・高野・遠藤・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		6	2	1	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6	2	1	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6	2	1	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		4	3	2	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
会議等で職員が意見を言える環境で、皆で考え行動をする事ができている。ご利用者やご家族、地域住民からの意見や苦情に対して迅速に対応し共有、反映する事ができている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
まだ地域住民との関わりが少なく、意見や苦情を聞く状況があまりない。施設が拠点となり協働した取り組みについては、こちらからの働きかけが十分にできていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
地域住民との関わりを多くするため、気軽に立ち寄れる場所にするには、どうしたらいいかを考え、実行する。(介護予防教室等)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 3 月 19 日 (19 : 00～21 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 一之瀬・小山内・関澤・高野・遠藤・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	4	2		9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	2	2	9
③	地域連絡会に参加していますか		2		7	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		3	5	1	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ほぼ毎月職員会議の時にスキルアップ研修の、実施、参加できている。一部職員は資格取得を目指し施設外研修にも積極的に参加している。事業者連絡会に参加し、その後施設にて振り返りの研修を行っている。ヒヤリ・ハットや事故報告があった場合、都度、職員でのミーティングを行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
施設外研修について参加人数、回数とも少ない。事業者連絡会については、管理者、計画作成担当者が出席しており、現場職員の参加ができていない。ヒヤリ・ハットや事故報告があった時のミーティングに参加できなかった職員に対しての周知、徹底ができていない状況があった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
個別面談を行い、職員が何の研修を受けたいかの聞き取りを行い、施設内研修の内容に反映させる。施設外研修についても職員本人からの希望を待つのではなく、事業所から声をかけて行く。ヒヤリ・ハットや事故報告があった時、申し送りノートにも記載をして確認した職員はサインを書く事で周知、徹底していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 3 月 19 日 (19 : 00～21 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 一之瀬・小山内・関澤・高野・遠藤・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	3	5	1		9
②	虐待は行われていない	8	1			9
③	プライバシーが守られている	6	2	1		9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1			8	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	5	1		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や、虐待について、定期的な研修も行っており、してはならない事と職員全員が理解をしている。毎月ご家族宛にエール通信を発行しており、写真を載せる場合の、ご本人やご家族の了承は得ている。入浴や排泄等、できる限り 1 対 1 の同性介助を行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
現在、成年後見制度を利用している方がいないため、理解をしていない職員が多い。職員同士がご利用者のケアについてフロアにて話をする事があり、他のご利用者に聞こえてしまい、不快な思いをされてしまう危険性がある。介助が重なってしまった場合等、無意識にスピーチロックになってしまっていると思われるケースがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
成年後見制度について研修を行い、知識の共有、底上げを図る。ご利用者のケア等の話はフロアで話はせずに別に時間と場所を設け、ご利用者様に聞こえないような配慮をする。身体拘束、得にスピーチロックについて重点的に研修を行う。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 光珠福祉会	代表者	荻野 健	法人・ 事業所 の特徴	昭和50年5月に養護老人ホーム光珠荘を事業開始し、平成24年3月地域密着型特別養護老人ホームとショートステイを開所。平成27年4月居宅介護支援事業所を開所。平成28年3月に小規模多機能型居宅介護ライフサポートハウスエール二之宮を開所する。法人理念は「敬愛と尊厳」。住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、「通い」を中心に「泊まり」、「訪問」の3つを組み合わせ、切れ目のないサービスで安心を届けます。
事業所名	ライフサポートハウス エール二之宮	管理者	一之瀬 淳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	1人	2人	1人	1人	人	人	7人	人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> ・業務が忙しいと思うが、しっかりと自己評価できている。 ・初めてという事もあり、評価が厳し目を感じる所がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所自己評価で決めた改善計画を基にしっかりとした対応を行う。 ・今後も常に課題を持ち、実践と修正を繰り返し行いながら、広い視野で客観的に評価する。
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとに玄関等に利用者が制作したものが展示されていて和やかな雰囲気がいいと思う。 ・明るく開放的な感じで居心地の良い事業所だと思う。 ・デイルームやお風呂、トイレなど清潔感があって良い。 ・地域住民などがもっと入りやすくなるような工夫をしたほうが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者との展示物作成は今後も継続し、来客された方にも季節を感じていただけるよう環境整備を行う。 ・ボランティアの来訪時などにおいて、地域の方々へ参加を呼びかけ来所していただくなど地域との関係性を築けるように努める。
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> ・職員は、いつも笑顔で元気に挨拶をしてくれる。 ・事業所の存在を知らない地域の方もまだ多くいると思う。介護で困っている家族の力になってもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や接遇は、施設内外の研修等で改善を図る。 ・事業所の存在や機能を知っていただくためのイベント等を検討・開催し、地域の方々との関わりを増やす。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・地域のお祭りにも参加しており、これからも色々なイベントに参加してもらいたい。 ・2ヶ月に1回、運営推進会議を開催しており、現状の報告や検 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のお祭りだけでなく、運動会や清掃作業などの機会に積極的に参加する。 ・運営推進会議でいただく貴重なご意見等を事業所内にて検討

			<p>討ができていると思う。</p>	<p>し改善につなげることで、地域と良好な関係が築けるよう努める。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の議事録をもっと公開してもよいのではないか。 ・出された意見がどのように検討され、改善につながっているかを詳しく教えてほしい。 ・運営推進会議で地域や行政の方々や防災や運動会の話をしており、安心できる施設だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は運営推進会議の資料や議事録を事業所正面玄関に回覧用ファイルとして設置しているが、より目につく場所に取りやすいように工夫する。表記の仕方についても、出された意見や検討・改善の流れ等がわかりやすいように考慮する。
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・地域の一時避難所として心強い存在である。 ・消防本部や区の消防団と連携した訓練は大変良いと思う。 ・市で行う秋の防災訓練を住民等と一緒にやってくれて助かる。 ・備蓄品も保管してあり方が一に備えてあると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も避難訓練(防災訓練)は、消防本部や地域の消防団と合同で年に2回以上の割合で実施する。その際は、ご家族や地域へも呼びかけ可能な限りご参加いただく。